

# 令和4年度事業報告

## はじめに

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、社会の仕組みや生活のあり方など、また、シルバーを取り巻く環境が変化する中、シルバー人材センターとしてコロナ禍に合った事業運営が求められました。このような状況の中、万全のコロナ対策を講じながら地区説明会や講習会、イベント等の計画を精力的に実施しました。

まず、業績をみると、令和元年度より契約額の減少が続いていましたが、令和4年度の5月以降、徐々にではありますが業績も戻りつつあり、令和4年度は前年度比 2,000 万円程増額の 531,367,892 円となりました。

また、会員数についても雇用延長の環境もあり、年々減少傾向が続いて、令和4年度末で前年度比 13 人減少の 934 人となりました。

コロナ禍の状況下、万全の感染対策を講じながら、種々実施した内容について、令和4年度事業実施計画に基づいて以下のとおりご報告致します。

## 1 コロナ対策の徹底

「新型コロナウイルス感染防止マニュアル」を徹底し、Zoom 会議、YouTube 研修等の活用、検温、マスク、換気等の基本動作の徹底に努めました。

## 2 事業の普及啓発活動

市民や事業所等へシルバー人材センター事業を広くPRするため民間企業へのアプローチ、各種イベントへの参加、シルバー朝市の実施等により事業の普及啓発に取り組みました。

- ① シルバー人材センター求人広告及び会員募集広告を公共施設に加え市内の銀行へ設置し、広くシルバー事業の周知に努めました。
- ② 商工まつり、多度すこやかフェスタに参加し、花菖蒲の会による手作り品の販売及び会員募集チラシ配布を行いシルバー事業の周知に努めました。
- ③ 10月のシルバーの日の前後に市内6地区でボランティア活動を実施しました。
- ④ ホームページをリニューアルし就業内容や会員の就業中の写真を掲載するなどして市民にわかりやすいようにしました。
- ⑤ 毎週水曜日にシルバー朝市を事務所玄関で開催し、地域の方へシルバー事業の周知に努めました。

- ⑥ 市の施設、ハローワーク桑名等公共施設へ会報誌 ORITURU、事業紹介用チラシを設置しました。

### 3 会員拡大への取組

会員拡大はシルバー事業を推進するうえで重要であり、入会した会員が希望する仕事につき、また、入会して良かったと思える魅力ある組織づくりに努めました。

取組みとして、ORITURU 新春号の市内全戸配布やリニューアルしたホームページに就業以外の活動を紹介し、シルバーの魅力を発信、また各種講習会を充実させるとともに、これまで実施してきた地区説明会を全地区で実施、企業等へ募集チラシの設置、就業相談会の実施に取組みました。

#### (1) 入会促進への取組

- ① 市内 16ヶ所、全地区で地区説明会を実施しました。説明会には 43 人の参加で 22 人の方が入会しました。
- ② 各種会員募集チラシを、公共施設、銀行 19 店舗に設置、また、くわな新聞へ折り込みを実施しました。
- ③ ハローワーク桑名での就業相談会を毎月第 2 水曜日に実施し 32 人の相談があり、その内 14 人が入会説明会に参加 12 人が入会しました。
- ④ 新入会員拡大報奨制度による新入会者の紹介を様々な場で会員へ呼びかけました。新入会員 136 人の内、会員からの紹介者は 20 名と 14.7%が会員からの紹介でした。
- ⑤ 女性部会による、ミニ盆栽教室やそば打ち体験を実施、また、満足度アップ部会と連携したシルバーまつりを開催し女性会員の拡大に取組みました。
- ⑤ ホームページに会員の就業中の写真や互助会の同好会の紹介などを掲載し、シルバーの魅力発信に努めました

#### (2) 退会抑制への取組

- ① 毎週木曜日、事務局内での打合せを行い、未就業会員の情報を共有して会員への就業紹介に結びつけました。
- ② 互助会活動に助成することを計画していましたが、コロナウイルの影響により活動ができなかったため、助成を見送りました。
- ③ 80 歳以上で会員 2 年以上在籍の方をゴールド会員として会費を半額に、夫婦会員的一方を今年度から会費を半額としました。ゴールド会員は 122 人、夫婦会員は 44 人の該当がありました。

## 4 就業拡大への取組

シルバー人材センター事業を拡大するうえで就業機会の確保・拡大は重要であり、今年度も就業開拓専門員が新規就業先開拓に取り組みました。また、職員による既存就業先からの就業拡大及び新規就業獲得に取り組みました。

- ① 就業開拓専門員による企業への地道なPR活動、重点顧客への切実な対応による信頼度向上に努め、就業拡大及び業務内容拡大に取り組みました。
- ② 求人チラシ及び会員募集チラシの内容を改善し、商工会議所、三川商工会、銀行等へ設置依頼、新規企業へPR活動を、また県外・県下シルバーの独自事業の調査等を実施しました。
- ③ 職員による既存就業の拡大及び新規就業の意向確認から就業拡大に繋げました。
- ④ 毎週木曜日に職員による打合会を開催し、新規入会会員、就業相談会員、未就業会員の情報を共有するなどして会員への就業先紹介に努めました。
- ⑤ 会員への就業情報の提供を事務局通信、事務所での掲示、リニューアルしたホームページに掲載し情報提供に努めました。

## 5 安全就業への取組

全国のシルバーにおいて仕事上の重篤事故が発生しており、本シルバーは幸いにも重篤事故は発生していません。

しかしながら、令和4年度の事故件数は33件と昨年度と同数となりました。事故内容をみると月別発生件数では5月に9件と最も多く発生しています。また、傷害事故が6件、物損事故が27件で、就業中の事故は31件とほとんどが就業中に発生しています。職種別事故件数では車関係の事故が11件、草刈中の事故が11件と事故件数の半数以上を占めました。特に車関係では、自動車事故が前年より増加しました。

このようなことから、事故削減の取組として交通安全研修や草刈講習会を実施、また、熱中症対策研修会等を開催し、会員の健康づくりにも取り組みました。

- ① 7月に市保健師による「熱中症の予防と対策」をテーマに研修会を実施、10月には三重県交通安全研修センターで交通安全実技研修を実施、1月には「高齢者の健康維持」、「交通事故防止活動」をテーマとして市保健師、桑名警察署による研修会を実施しました。
- ② 草刈り作業の安全マニュアル、飛石に関する安全ビデオ等を題材に、草刈講習会並びに安全作業についての講和と実技を実施しました。
- ③ 安全就業委員による安全パトロールを年5回実施し、剪定・草刈等作業現場の状況確認と安全指導を行いました。
- ④ 安全かわら版へ新型コロナウイルス感染症対策情報、事故発生状況、交通安全の啓

発情報などを掲載し、会員の安全就業に向けた情報提供に努めました。安全かわら版は年4回発行しました。

- ⑤ 事故が発生したときには、事務局長が担当職員と事故現場に急行し、事故発生状況を把握するとともに事故原因を検証し、安全対策を協議しました。結果については関係役員、関係会員へ通知しています。
- ⑥ 三重県シルバー人材センター連合会主催の三重県安全就業推進大会(Zoom 開催)へ安全就業委員会正副委員長及び事務局長が参加し、安全に関する知識の向上に努めました。また、津市で連合会主催の安全・適正就業パトロールに委員長、職員が参加し、他のセンター担当者との意見交換し、安全就業確認ポイント等参考になりました。

## 6 組織の活性化への取組

組織の活性化に向けて、昨年度実施できなかった施策を今年度は、コロナ感染対策を徹底し、精力的に実施した。

- ① 令和5年10月より導入予定される「インボイス制度」の対応の為に、あらゆる事態を想定し、事務費規程の改訂、特定費用準備資金を設置しました。
- ② 事務局組織の機構改革を進め、3つの業務グループを設置し、週1回打合せを行うなどシルバーの安定運営に取り組みました。
- ③ 事業推進委員会の「入会促進・就業開拓部会」では、地区説明会を全地区で実施「満足度アップ部会」と「女性部会」が連携し、シルバーまつり等様々な講習会や教室を開催しました。
- ④ 地区組織活動としては、一部の地区で懇談会、ボランティア活動を実施しました。
- ⑤ 会員の満足度向上に向けて、令和4年7月から令和5年2月にかけて安全講習会やシルバー寄席等のイベントを開催しました。
- ⑥ 将来のシルバー人材センターを見据え、スマホを使った情報のやり取りができるようスマホ教室を開催し、これからのシルバー世代を迎える人に対応できる体制作りを図りました。